

すさみ町有地売却疑惑の件で町有地売却の真相を糾す町民有志が2回目のチラシを町内に配布した（別紙参照）。全くそのとおりだという感想が町民感覚だ。

しかし、すさみ町議会は一向に調べる気配すらない。子育てをしている主婦と思われる方から議員各位に手紙が送られてきても匿名ということで無視をしている。町民が名前を名乗って意見できる立場かどうか議員各位は真剣に考えてほしい。そんなことはそうできることではない。すさみ町を語る会のメンバーはそういう意味では勇気ある行動だ。議員各位は特権的な立場にいる。一般の町民と立場が違う。だから匿名の手紙であろうが、投書であろうが耳を傾け、それが町民の声として捉えることが大切ではないかと思う。

こんなことを書いても議会はたぶん何もしないだろう。

それはつまり、議員らが岩田町長や上田議員に接待を受けていい目をしているからこそ何も言わないのだ。こういうことが今町内で噂されている。共産党の議員ですら腑抜け状態だ。町民の声に耳を傾けることなく、役場も議会も一蓮托生だ。自分らだけがいい目をしている。これが何も行動を起さないことの答えだと捉えられてもしかたがないだろう。

数年前、町職員の不正行為があり、町長は職員を懲戒免職にし、さらに刑事告訴をしたことがありました。その際、町長は署名入りで事の経緯と不正行為の再発防止について、町民に対して説明と理解を求めるチラシを全戸配布しました。

それと同じことを町有地売却に関わる疑惑に対して、きちんと説明すべき道義的責任があります。どのような経緯があって、売却にいたったのか。また、その売却に積極的に動いた議員はどのような役割を担ったのか。売却先の会社を役場はきちんと調べたのか。こう言った事柄について、第3者委員会などを立ち上げて町民に説明すべきです。

さらに売却先の社長が暴力団関係者であるのか、ないのかは、警察に相談すればいいことではないでしょうか。また、町有地売却でこのような事態になったことの責任が議会にもあり、しっかりとこの問題を取り上げ、町民に報告してもらいたい。

町有地売却の真相を糺す町民有志